

クアーズテック合同会社



業 種／製造業
 主な事業内容／エンジニアリングセラミックスの製造・販売
 従業員数／約1,500人(連結 約2,000人)

訓練

訓練、教育、試食までまとめて行い、実行性の高い訓練を実施

●年2回の定期的な防災訓練

ビル管理会社の防災訓練に併せて、年2回実施している。震度6強の地震が発生したという想定でビル管理会社からアナウンスがあり、指示に従って移動を開始する。

●訓練、教育、試食まで体験

避難訓練後は、フロアに戻って災害対策の教育を実施するとともに、非常食を試食し、心構えを新たにしている。

●布製担架で搬送訓練

エレベーターが使えない場合、けが人や身障者を階段で搬送しなければならない。そこで、布製担架使用を用意しており、搬送訓練を実施している。6人で1人を運ぶことになるが、階段でバランスをとるのが難しい。

訓練の流れ



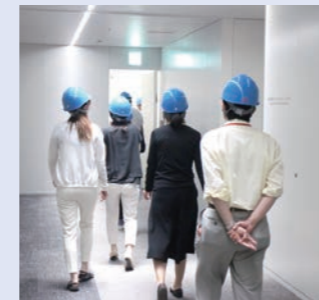
地震発生 デスクの下へ身を隠し、安全確保



優先して避難通路を確保する



消防隊員はけが人の有無や電気関係を確認、消火器の使い方説明



避難指示が出た場合は素早く行動



一時避難場所に集合・点呼



避難訓練後は臨場感が抜けないうちに災害教育



非常食も試食、訓練の日の昼食はみんなで非常食



布製担架を使用してけが人や身障者の搬送訓練



防災教育トイレの使用方も説明する

断水時のトイレ対応

簡易トイレキットの使い方を訓練時に説明している。1人につき1日8回分、3日間滞在の想定である。



簡易トイレキット



使用前



①便座を上げる



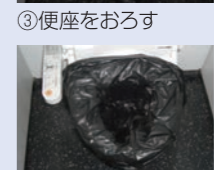
⑤用を足したら、薬剤(凝固、殺菌、消臭剤)を1袋振りかける



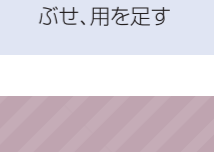
②袋をかぶせる



⑥便座にかけた袋を縛る
 ⑦可燃物として廃棄できる
 ⑧便器にかけた袋はかぶせたまま
 ⑨次に使用する方は④から繰り返す



③便座をおろす



④用便袋を便座にかぶせ、用を足す

備蓄

滞在者のことを考えたきめ細やかな備蓄

●女性視点

3.11東日本大震災以降から災害対策を本格化させ、2012年の東京都帰宅困難者対策条例に従って、備蓄品の整備を進めてきた。

一般的な備蓄品に加えて、重視しているのが女性視点の備品だ。女性からの要望を確認し、生理用品に加えて使い捨てカイロや水なしで使えるウェットティッシュなどを装備し、3日間の滞在に備えている。

●モバイルバッテリー

災害時はスマホが重要な通信手段となるが、常に充電可能な場所に滞在しているとは限らない。このことから、全社員にモバイルバッテリーを与え、スマホとともに携帯させている。ライトを点灯できるタイプで、夜間や停電時の密室でも活用できる。



ライト付きのモバイルバッテリー

周知

3日間滞在することの意義を徹底

「災害時の72時間の壁」といわれているように、人命救助は災害が発生してから72時間が勝負である。消防隊や救命隊の迅速な移動を妨げないよう、その間は道路を解放しなければならず、これがオフィスに3日間滞在することの理由である。たとえ歩いて帰宅することができても、3日間はオフィスに滞在することとし、このことを教育で理解させている。

3日間の非常食のメニュー 和洋中にお菓子も組み合わせ飽きないように工夫している

2021年度非常食メニューローテーション／購入リスト

	1日目	2日目	3日目	備考
朝	※クッキー(安心のおやつ) 2024年1月	①パン(巻入り) 2021年12月	クッキー(安心のおやつ) 2024年1月	
昼	②缶詰(ポテトサラダ) 2024年1月	③アルファ米(きんぴらごぼう) 2024年3月	④野菜ジュース(フルーツミックス) 2022年6月	
間食	よかん 2025年5月	醤油せんべい 2022年9月	クラッカー 2022年8月	
夜	①アルファ米(豚肉) 2023年9月	②カレーライス 2026年11月	③中華丼(鶏) 2022年11月	
	④缶詰(ぶり大根) 2022年11月	⑤缶詰(五目豆) 2022年7月	⑥缶詰(ひじき) 2023年3月	